月10日です。 掲載できないことがあります。 ーです

禍・問い合わせ

がたの出席のもと、福間会館で開催しま会を、市長をはじめ、多数の来賓のかた4月20日、第64回福津市地域婦人会総

民の皆さんのご理解とご支援をよろし 員相互の理解と親睦を図り、長きにわた「自立・平等・共にのびやかに」を目標に会 り、婦人会活動を行っています。 新たな入会を歓迎し ます。今後とも

いします

平成27年度役員のお知らせ平成27年度役員のお知らせ顧問岩佐 礼子副会長竜口タカ子副会長寺元 圭子会計永松百合子生協竹中 峯子大和一区樋口 節子大和一区一時子

広石福緑昭古両本花原報け間 和 部份東町町町谷町見町 志満千代子 安永 茂子

鴬や

鳥談

千々和洋子

店

々

に

新茶の幟揺れるまち

ただい

終活にまだ捨てきれ

の子が電車追っ

け風になる

の主役を張った桜散る

【津屋崎俳句会】

ら流れ

込み

目代タカ子

福島

高し見て

元子

制服に

マの笑顔や初桜

原田

令子

連れ添って浅瀬まで来た雲ふ

顔近づけて柚子

前田フヂエ

雨降って土のふくらむさ

薄ら

入院の義姉が手渡す種袋

敦子

実直な少

0)

の芯

西岡美津子

空

お

、鯉みてが

跳ね

끼

室元松希興

一途な友に逢えそう

、お仏壇

納 富

人居

垣根にこぼる春

光

鳥が運んだ柿の種

中山

釜

藤山

4

井手和子☆

【お詫び】 問い合わせ

びして訂正いたします。習会」は「防炎講習会」の誤りでした。お詫5月1日号でお知らせしました「防災講

ラ に回遊魚のごと緑さす 【太郎丸俳句会】

.に羽根は生えてこず

遠霞ス

イ

チ

17

田中線

受験票

と無で

林田恵津子

淑子

1

ョたちみんなでか

川柳

「虹の会」

朝

だ

海

沖縄は

塩毛

信子

んぽ

や昭

岡部ヤッの間父がいる

違

ね春

0)

花散

た

つるみつお

田中二史子

本落葉 畑迫みさを

お

ぼろ夜や遅れ

が

なる終電車

開発ののど

樫根

わ子

市実年囲碁会4月例会 次回は、6月2日(第1火曜日)、6月16日 (第3火曜日) 午前10時受付締め切りにより、 中央公民館和室で開催します。

囲碁·将棋大会

	1位		2位		3位		
	1	牛垣	徹	魚住	洋二	吉田	哲雄
	2	今泉	武志	尾崎	銀二	岩谷	巌
	3	中嶋	孚	井本	雅文	佐藤	辰夫
実	4	山崎	和夫	阿部	学	花田	和彦
年囲	5	広渡	直	石井	隆夫	三宅	三郎
四 碁 会	6	桜井	峰治	藤井	修	中嶋	_
会	7	松尾	正久	能美	一丸	宗平	正
	8	武田	隆幸	荒巻	涉	豊川	隼智
	9	上野	象三	城野	正雄	森山	英明
	10	立花	基喜	江川	照正	山本	正三

運 満生 忠雄 ☎43・2420

福津市将棋同好会4月例会

	1.	位	2	位	3位		
Α	北原	秀誠	滝口	純一	川端	政憲	
В	春日	久行	松田	滝男	佐野	五郎	
С	大隈	勲	中村	勝利	渡辺	俊男	
D	宇都	一男	秋山	元治	中嶋	宗行	
Е	染森	和治	梶木	繁実	三村喜久治		
F	古閑	義久	木道	健一	木村	茂治	

連 吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会4月例会

次回は、6月14日(第2日曜日)午前10時00分 受付締め切りにより、中央公民館和室で開催

		1	位		2位	3位		
1	l	佐藤	弘鱼	猪俣	征雄 街	今丸	滇鱼	
2	2	千綿	勝回	三原	敏男 @	田中	英則 @	
3	3	\Box	忠男@	吉田	幸博 🗎	箱島	孝回	
4	1	加村	光義 🗎	水上	重文⊜	井手	美徳 🗎	
5	5	中嶋	孚⊜	柳川	満口	内場	和光 🗐	
6	3	髙島	正憲⑩	上野	勲⊜	桜井	峰治 🖨	
7	7	宗平	正⑩	竹山	晃②	江頭	巌釰	

連 井本 雅文 ☎42.0566 三原 敏男 ☎42.3916 ●は二段、②は2級

津屋崎囲碁同好会4月例会

次回は、6月28日(日)午前10時から文化会館 で開催します。

		l位		2位	3位	
Α	今泉	武志 🖰	今丸	滇 🕀	魚住	洋二国
В	中嶋	孚 @	井本	雅文 @	石松	良治⑤
С	柳川	満⊜	西住	弘久 🖨	河野	正廣參
D	竹山	晃③	白石	尚文 ④	山本	正三②

般投稿】 短歌

いアルバム涙して見れは亡き母の面影偲びっ

るつ

宙

燃

【わたつみ短歌会詠草】

友持ち ケ コ 國逃れて生きた七○年 れて の旬に の寂 ノコ大尽 か次々と 方木 精

【一般投稿】

俳句·川

それでも

山桜は散るを惜しまぬ水勢に花片はのみこまれ

々に会

に幸せな

富田

る

黒潮降 大雲取 ぱ道 小雲取越ゆ二日 1, いにエネ ら見る花みず ルギ 満 坂口 怜子

枚

の舌で辛苦を乗り

越え

濁

左に花な

中る

を捨て若さ拾いに雑踏

帯陽ま

の速

い黒雲の

圧に入りくるの切れ間より

空いっ

通ってい

るとは聞きい

見れば同じ日三年日記薫風に妻と頂く貝汁は 雨容赦な 宗像 治子

摩

僧侶

0)

読経揃い

碧水

妥協す

/二世帯同居は2000年る事に馴れ

無事にゆく筈

ば諍いも

山形

桜桃に来

目

白二羽

年を経れる

た

ゃ

誰

ぞま

か

遺骨

壺

と移り

一番はと

に吹いたにじ

れっ た

明孫

治二

か務む

りで昨日

とほ

た

き鳥に似

田圃の白

治屋は

政

お国能 悪 分 か 奴ほど良く昇 ない施設花生け 進る

松 い 本 連蔵

連 永島 和美 ☎52・5610 □は二段、②は2級

覧板我が家素通り 隣家ビ ック 御幸 IJ

回

あ れば 長云 常彦

何

山桜 本間 佐々木冴子 る 碧水

広報ふくつ

地域婦人会だより